



「同じ音の数のことばをさがそう」

今回は、ことばの音の数を意識したあそびをご紹介します。音の数（文字数）が多いほど、発音が曖昧になったり、音の数自体が変わることもあります。（例：「ゆきだるま」→「ゆきあうま」「ゆきだま」など。）そのことばがいくつの音からできているのかを意識することは、「よく聞く」ことや「正しい発音」につながります。

【同じ音の数のことばをさがそう】

〈例〉●の数と同じことばを絵カードからさがしてみましょう。

- 2文字
- 3文字
- 4文字
- 5文字



【「〇〇」の音はいくつかな】

〈例〉「」の音はいくつかな？」

指で数えながら行くとわかりやすいです。

～いっしょに遊ぼう～

わらべうたでコミュニケーション

「人は社会的な生物」といわれます。社会生活を送っている以上、何らかの形で人とつながって信頼関係を築き、協力しあう生き物です。

「孤独」の言葉は、良い意味で使われませんよね。「おひとりさま」がポジティブな言葉として使われ出したのは最近の事です。それほど人は一人で生きられないと社会的役割を求められています。

ちなみに筆者は一人旅が好きです。それぞれの感覚で生活のバランスが取れている事が大事なのでしょう。

子どもの遊びには、通常、孤独はついてきません。上手いかなかった時にもう一回と後押しをしたり、出来た！と満足した時に一緒に喜んでくれる大人が傍にいるはずだからです。

この共感が豊かであるほど、子どもは自尊感情を高め自立に向かいます。

触れ合い遊びが出来るのも今の間。
子どもは必ずいつかは離れていきます。
距離感が密接な時期を楽しんでください。

トナエ文句を覚えて言おう ～言葉遊び～

イチ ニノ サンモノ シイタク
デッコン ポッコン チュウチュウ カマボコ
デスコ パン

家族で集まって遊べます。一人がオニ決めのように頭や手などを順に触り、最後のパーを色々な音に変えて唱えます。最後当たった人がその音から始まる言葉を言う。言えれば次のオニ決めを繰り返す。パー→パン、ウー→うさぎなどと言うように。言えなかった時の事、時間制限などルールを決めると面白いですね。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなごます
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
電話 0797-71-1141(市役所)
0797-77-2132(直通)
FAX 0797-71-1891
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。